

はぎの里運営推進会議録 第36回

日時	令和6年4月17日(水) 13時30分～	
場所	グループホームはぎの里 交流室	
出席者	自治会長	谷口賢治様
	民生委員	渡辺靖子様
	校区有識者	林田政信様 高木テイコ様 及川征加様
	ささえりあ	永田雅洋様
	家族代表	武藤博子様
	ホーム職員	会長 淵上 増田
	田原ふれあいの家	代表 宮崎

現状報告

令和5年12月13日から令和6年2月13日迄

入居者数	9名	
平均年齢	83.25	
平均介護度	1.75	
介護度	要支援2	1名
	要介護1	5名
	要介護2	1名
	要介護3	1名
	要介護4	1名
	要介護5	0名
地域別	熊本市北区	9名(植木町9名)
	中央区	
	東区	
	西区	
	南区	
野外活動	3月・・菊池神社花見 鞍掛グラウンドへ歩行訓練 防災訓練	

・日常の経過報告

2月14日利用者にコロナ発生 2月24日終息
9名の入所者中5名の発症あり(2名は1月発症)

議題

ささえりあ植木 法人交代につき新任管理者紹介と運営推進委員の紹介実施
新管理者・・・永田雅洋様

今後事業所、運営推進委員の方々と交流を深め情報の支援をお願いしたい

本日の防災訓練に参加した中での気づき等の意見

・「火事です」の声聞こえなかった。

※職員より・・・認知の方がへの対応を考えての対応で声が小さかった

意味が分からずに部屋から出たり、ベッドよりの転落転倒の

の防止を考えた

・喚鐘(委員の方より進呈の声が上がる)を使ってはどうか。

施設に設置して近隣に知らせる手段にってはどうか。

地域の会議でこの喚鐘についての周知徹底を行っていく

・利用者に日頃から火事の話は行っていく(どうやってどこに逃げる)

・北側は袋小路になっている ・漏電の火災が考えられる

・スプリングクーラーの設置(訓練に使用できない)・訓練を行うのが一番

・発煙筒を使用しての訓練はどうか・緊張感を感じる訓練を行う

・地域の消防団にも呼び掛ける

・利用者を入れての訓練はリスクある(不穏 転倒 不詳等)

次回の開催予定
6月 19 日 水

はぎの里交流室にて
13:30～